

ジャンボタニシの被害対策を行いましょう！！

- ジャンボタニシによる稲への食害は、田植え直後から多発します。
- 被害防止に向け、田植時期（4月～7月）は地域一体で対策に努めましょう。
- 特にジャンボタニシの越冬場所となる部分を重点的に駆除しましょう。



水田ほ場

被害が甚大であったほ場は重点的に実施しましょう！！

● ほ場への侵入防止をしましょう！！

POINT

- ・水路（特に排水路）との出入口に網を設置し、侵入を防ぎましょう。
- ・農業機械を介した未発生ほ場への貝の持ち込みにも注意しましょう。



田植え後に食害にあったほ場

● 浅水管理で貝の活動を抑えましょう！！

POINT

- ・水深が浅い（3cm以下、理想は1cm以下）と、貝の活動が鈍り食害が抑えられます。
- ・田面が露出すると雑草が発生しやすくなる為、細かい水管理が重要です。

● 農薬散布で被害を軽減しましょう！！

POINT

- ・使用基準・登録内容に沿って適切に使用しましょう。
- ・状況に応じ、殺貝や食害防止を目的とする農薬を適切に散布しましょう。

● 石灰窒素散布は慎重に実施しましょう！！

POINT

- ・水温15℃以上、かつ、3～4日以上湛水可能なほ場で効果が期待できます。
- ・魚毒性が高いため、水路への流出防止として散布後は、1週間以上は水を保ちましょう。
- ・田植前に散布する場合は、基肥施用量を配慮し、生育に応じた肥培管理に努めましょう。

注意

- ・石灰窒素の使用回数は1回のため、収穫後に散布した場合は田植前に散布できません。

水路

被害甚大ほ場周辺や、泥が溜まりやすい水路は、重点的に実施しましょう！！

● 卵塊除去と成貝捕殺に取り組みましょう！！

POINT

- ・貝や卵は素手で触れず、手袋をしましょう。
- ・落水時に効率的に駆除しましょう
- ・産卵から1週間経過した卵は水中に落ちてても孵化するため、除去又は潰すようにしましょう。

ジャンボタニシの卵塊



産卵直後
(赤色)

ふ化直前
(白っぽい色)